

秋田市バリアフリー基本構想



平成23年6月

秋 田 市

はじめに

わが国では、諸外国に例をみないほどの急速な高齢化により、本格的な高齢社会を迎えております。また、障がいの有無にかかわらず、ともに生活し、活動できる社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念も広まりつつあります。

このような中、本市では、これまで、高齢者や障がい者など、すべての市民の皆様が自立した日常生活や社会参加することができる環境整備の一つとして、平成16年に策定した「秋田市交通バリアフリー基本構想」に基づき、市内2駅を中心とした駅周辺のバリアフリー化を推進してまいりました。

この間、平成18年12月のバリアフリー新法の施行や平成23年度からスタートした新たな総合計画「県都『あきた』成長プラン」の成長戦略の一つ「エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）の実現」を目指すことなど、構想の策定時と状況が変化してきたことから、新たに「秋田市バリアフリー基本構想」を策定することといたしました。

本基本構想は、鉄道駅やバス、道路、公園、信号機等のバリアフリー化について、各事業者の皆様からご協力をいただきながら、目標年次を定め、事業内容を記載しております。また、バリアフリー新法の施行により、心のバリアフリーの方針についても示しております。

今後は、本基本構想に基づき、バリアフリー化に関する事業を促進していくこととなりますので、市民や事業者、関係団体等の皆様におかれましては、実現に向け、一層のご理解とご協力をたまわりますようお願いいたします。

結びに、本基本構想の策定にあたり、ご尽力をたまわりました秋田市バリアフリー協議会委員の皆様をはじめ、各事業者の皆様やアンケート調査、ヒアリングにご協力いただきました皆様ならびに市民の皆様から寄せられた多くのご意見に、心から感謝申し上げます。



秋田市長 穂積 志

